

キャラクター名

シュテルン・S・スタークス

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	
			年齢	16	性別	
オプショナル						女
覚醒	素体	衝動	破壊		初期侵食率	38%
出自	待ち望まれた子	経験	実験体		邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	0	0			3	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	3	1	0			4	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C	3		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フレアシューター	R C	5r+3		11		4+8+9 コスト6
ファイアブラスター	R C	5r+3		17		2+4+8+9 コスト12 シーン選択 装甲貫通
ファイアブラスターex	R C	3r+3		21		2+4+5+8+9 コスト16 シーン選択 装甲貫通 80↑
ディザスターフレイム	R C	4r+3		47		1+2+4+5+8+9 コスト20 シーン選択 装甲貫通 100↑

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		シャドウバディ	P	N	
		八重樫 若菜	P 純愛	N 不安	
		玉野椿	P 信頼	N 隔意	
		ヴィータ	P 信頼	N 無関心	
		瀬名方 玲人	P 感服	N 侮蔑	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	10	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
プラズマカノン	2	4					100↑	
効果：攻撃力Lv×5								
原初の赤:サイレンの魔女	2	6						
効果：攻撃力Lv×3 シーン 装甲貫通								
焦熱の弾丸	1	1						
効果：攻撃力Lv+2								
クロスバースト	1	4					80↑	
効果：攻撃力Lv×4 ダイス-2								
原初の白:マシラの如く	3	5					80↑	
効果：攻撃力+LV×10 ダイス-5								
原初の黒:オーバードーズ	1	4					100↑	
効果：組み合わせたエフェクトのLv+2								
原初の●:魔獣の衝撃	1	2						
効果：攻撃力+5 ダイス+Lv								
灼熱の砦	1	3						
効果：攻撃力Lv×3								
原初の青：陽炎の衣	1	4						
効果：								
原初の黄：戦いの予感	1	2						
効果：								
原初の紫：デビルストリングス	1	7						
効果：								
イージーフェイカー:天使の外套	★							
効果：								
炎の理	★							
効果：								

設定(出自と今)
UGNのとあるラボにて行われていた、ウロボロスの他のレネゲイドを制御する力を使って、戦場にあるレネゲイドを収束して放つ戦略兵器「プレイカー」の完成ロット。
この実験にはこの実験のために人工的に作られたデザイナーベイビーが使用されており、人為的にウロボロスのシンドロームに覚醒させる実験、「プレイカー」の技術試験、試験結果から単体での発動が不可能だと分かったため制御用に人工的に作り出したシャドウバディを植え付ける実験など様々な実験が行われ数百ものデザイナーベイビーたちが消費されていった。
その中で唯一シャドウバディと適合できたのがシュテルンであり、シャドウバディ込みでも安定した発動が難しかったため無理やり制御効率を上げる為に「プレイカー」の発動時、脳内物質を過剰分泌させる改造を施されてFHを支部に対して送り出される直前に、ラボの研究を察知したUGN上層部が乗り込み保護された。その後は本人たつての希望でUGNの上記のような過激な研究をしたり、チルドレンに対して非道な行いをしたり、FHと内通していたり、その他UGNにとって不都合なことを行っている「UGNの裏切り者」を見つけ処分する極秘機関に所属している。
その極秘機関は指揮をしているリヴァイアサンとリヴァイアサンの信頼のおける数人の支部長にのみ存在が明かされている。
設定(性格など)
出自もあってか、基本的に感情の起伏が乏しく冷静な性格で任務を強く重んじる。
「プレイカー」の使用に最適化された存在のため当初は会話に問題があったがとある人物の教えと本人の努力の成果で現在では普通の人と変わらない会話能力を有している。
会話を教えてくれた人物のことはとても尊敬していて親のように慕っている。
その人の影響で、カワイイものを見たり集めたり愛でたりするのが趣味。
極秘部隊での任務は次の自分や死んでいった兄や姉たちのような存在を生み出さないために積極的に取り組んでおり意欲が高い。